

き な さ

鬼無里フットパスによるまちづくり

(長野市鬼無里地区)



2018(平成30)年12月
鬼無里観光振興会

【長野市鬼無里地区】

- 平成17年 長野市と合併
- 総面積 127 Km² (90%が森林)
- 標高 678m (支所)
1,250m (奥裾花自然園)
- 人口 1,324人 (高齢化率58.5%)
(H30.12.1現在)
- アクセス
長野駅から約23km (車で40分)
- 主な地域資源
奥裾花自然園、水芭蕉、奥裾花溪谷、鬼女紅葉伝説、
おやき、乾燥野菜、えごま 等



取組みのきっかけ（H28）

奥裾花自然園
の夏季休園

観光ニーズの
変化

地域資源を活用した
新たな観光コンテンツをつくりたい！

「鬼女紅葉伝説」の活用検討

鬼女紅葉伝説

ときは平安時代

紅葉という女性が都から戸隠に流され

水無瀬（みなせ）の里に住み 村人に文化を伝えた

いつしか鬼女となって勢力をふるい

平維茂と戦って退治される

水無瀬改め、鬼のいない里 鬼無里（きなさ）の誕生



フットパスとの出会い

鬼女紅葉ゆかりの地を歩いてみた。

京にゆかりの
地名は残る

名所・旧跡は
少ない

里歩きコースとマップをつくろう

気持ちの良い
散歩みち

偶然、フットパスの取組みを知る

鬼女紅葉ゆかりの地をめぐる
フットパスコースをつくろう！



フットパスとは？

foot path = 歩く小径(こみち)

- ・イギリス発祥。北海道、九州、町田市などで盛ん。
- ・ありのままの風景や文化、交流を楽しみながら歩ける小径。
ひいては、このみちを歩くこと。
- ・歩いて気持ちの良い道をつないでコース化。歩くこと自体を大切にする。



まちを歩いて、
自ら楽しみを「発見」する。
地域の人と「交流」する。

(北九州市立大学 廣川祐司 准教授)

ブラタモリ
+
鶴瓶の家族に乾杯

H29事業内容（「H29長野県地域発元気づくり支援金」活用事業）

フットパスフォーラム	6/4キックオフ 日本フットパス協会 NPO法人みどりのゆび 尾留川朗さん講演会	参加33人
コースづくりワーク ショップ	6～10月に計5回 9/2モニターウォーク	参加延べ114人
ウォーキングイベント	10/21鬼女もみじ祭りの一環 住民のおもてなし (漬け物、煮豆など)	参加18人
案内マップ作成 案内板・標柱の設置	善光寺門前で活動する デザイナーに依頼	
研修会	イギリス及び国内の動き 意見交換会	参加20人

⇒鬼無里フットパス「谷の都コース」の完成



H29年度 鬼無里フットパスコース
づくりワークショップの活動より

事業効果

地域への愛着、地域づくりへの意識醸成

- 地域をより良くしたいという住民の思い
- フットパスコースづくりを住民自らが楽しむ。

交流人口の増加

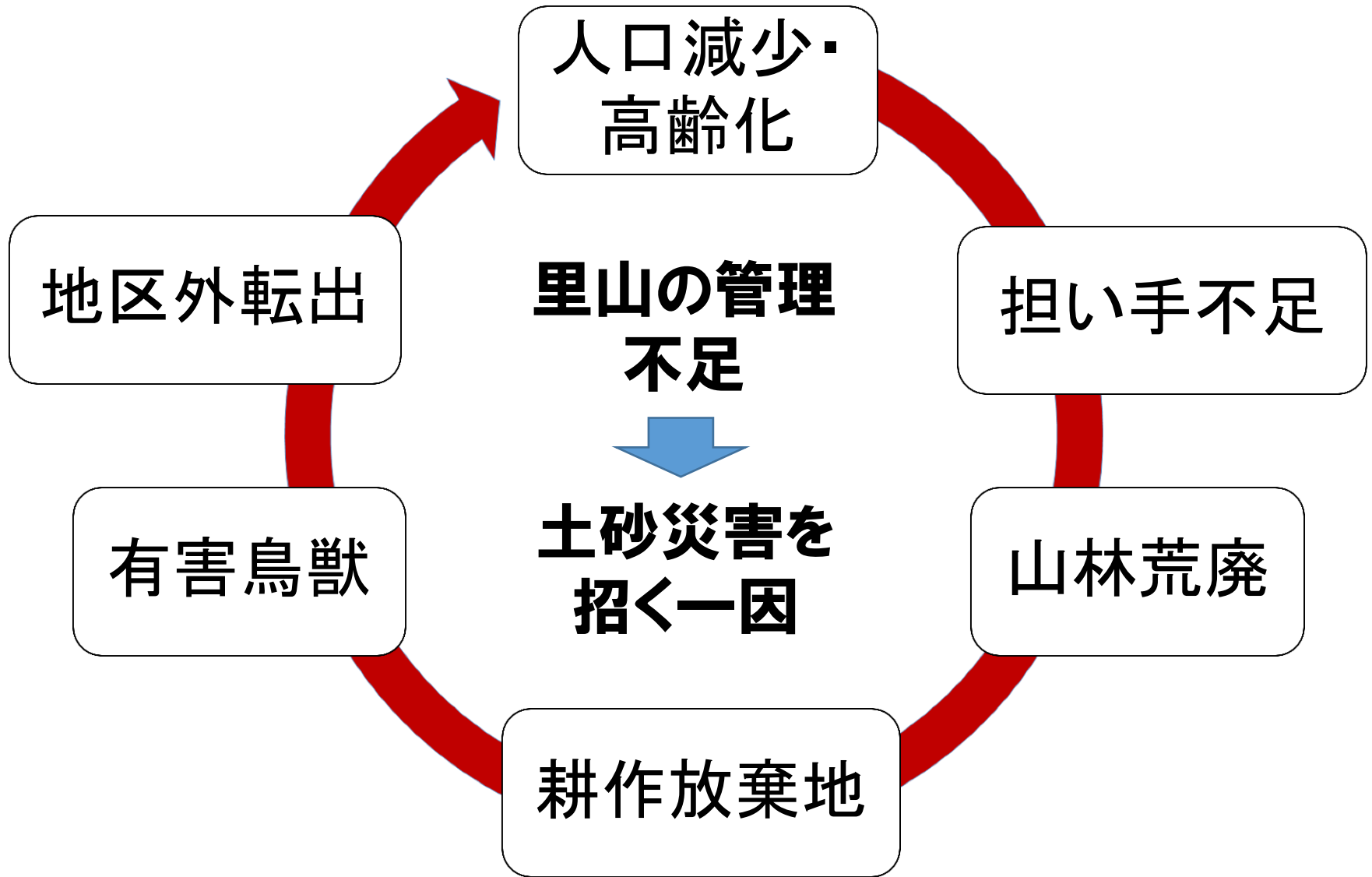
- ウォーキングイベントの参加者
- マップ片手に歩く人もチラホラ
- 視察の受入れ

里山景観保全

- いつのまにか除草されている！
- 耕作放棄地でソバ栽培開始



中山間地の悩み



フットパスに取り組む意義

日本の国土
を守る

中山間地に目を向ける。光を当てる。

① 地域資源の掘りおこし

自然、景観、食、歴史、文化など住民自らが地域の宝を再認識、再発見

② 地域のファンづくり

フットパスで地域を深く知れば知るほど何度も来たくなる。

③ 共同体の再生

住民参加で、地域の誇り・愛着の深まり、保全・継承

④ 他地域との連携・交流（交流人口の増加）

全国各地との交流促進、連携企画への発展

⑤ 経済効果

ツーリズム、宿泊、物販、地域PRなど地域経済への貢献

今後の課題

フットパス事業の充実・発展

- 新たなフットパスコースづくり（H30 しらひげの杜コース）
- フットパスを使った様々な企画（H30 婚活×フットパス）
- 他地域との交流、コラボ

持続可能な体制づくり

- フットパスサポーターズ
- ガイドの育成

次世代への継承

- 小中学生
- 大人（現役世代）





KINASA
footpath

ご清聴ありがとうございました。

<http://kinasa.jp/>